

## 奈良県斑鳩町戸垣山古墳・舟塚古墳の調査成果

豊島直博・谷野誠也・上野喜則・行天就要・竹村昂起・松木研太・水川慶紀・望月拓海

奈良大学文学部文化財学科は斑鳩町教育委員会と共同で町内の古墳の調査研究に取り組んでいる。令和5年度は舟塚古墳の第3次調査を行ったので、その成果を報告する。

舟塚古墳は現存する墳丘が直径8.5mの円墳で、右片袖式の横穴式石室をもつ。羨道部はすでに破壊されており、玄室は長さ3.8m、幅1.6mである。石室の天井石は抜き取られていたが、側壁が崩落し、多くの副葬品が遺存していた。

出土遺物には大刀2点、轡、辻金具、鉄鏃、琥珀玉、埋木製玉、須恵器、土師器などがある。須恵器には子持壺、脚付壺、高杯、蓋杯などがあり、年代はTK10型式期後半～TK43型式期と考えられる。

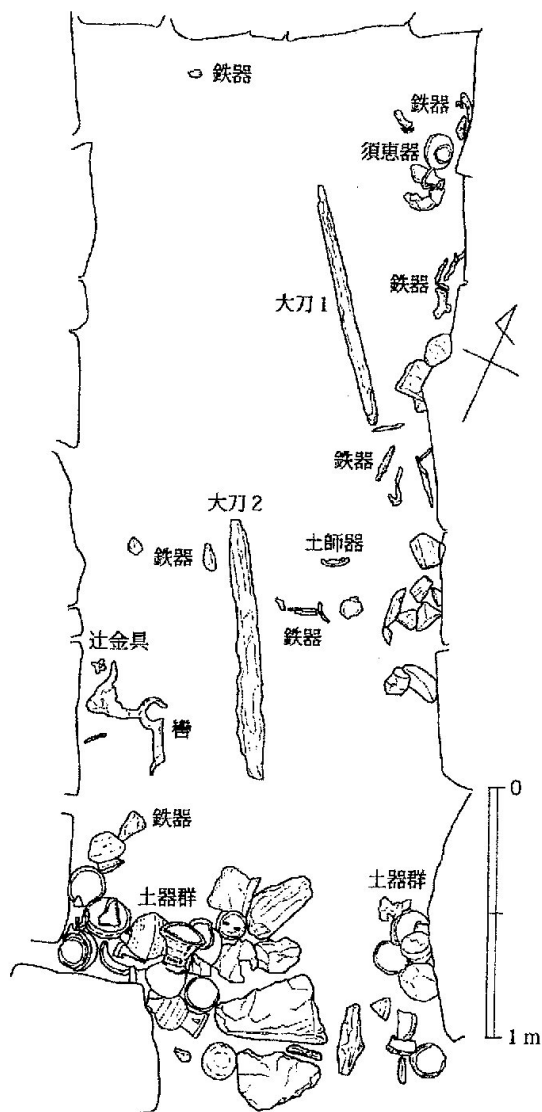


図1 石室内遺物出土状況



国土地理院発行2万5千分の1地形図「信貴山」使用  
1. 戸垣山古墳 2. 舟塚古墳 3. 斑鳩大塚古墳 4. 龜塚古墳 5. 藤ノ木古墳 6. 春日古墳 7. 甲塚古墳  
8. 竜田御坊山古墳群 9. 神代古墳 10. 寺山古墳群 11. 梵天山古墳 12. 慶華池古墳群 13. 仏塚古墳  
14. 三井古墳群 15. 瓦塚古墳群 16. 駒塚古墳 17. 調子丸古墳 18. 稲葉車瀬古墳群 19. 酒ノ免遺跡

図2 斑鳩町内古墳分布図

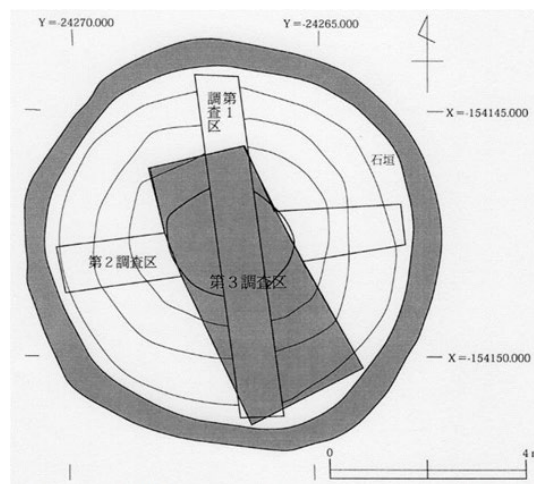


図3 調査区配置図



図4 舟塚古墳全景（調査前）



図5 石室内遺物出土状況



図6 袖石付近土器出土状況